

「酒気帯び」デッチ上げの顛末！

8日も経って『処分通知』の差し替え？！

2月24日、「酒気帯び」をデッチ上げられ不当にも減給処分を発令された東二運分会斉藤書記長に対し、会社は勤務終了後に総務科へ呼びつけ「先日の発令通知は減額の内容をわかりやすくするために差し替えます」と通告しました。新たな『発令通知書』には以前はなかった減給率が記載されていました。

発令から8日も経ってからのことです。皆さん、このような馬鹿にした対応が許されるのでしょうか？そもそも、すでに会社には『発令通知書』に減給率などが記載されていないなど、形式が全くデタラメであり、無効であることを申入れているのです。このことには何ら回答せず、いきなり呼びつけ「差し替える」という暴挙が世の中で通用するのでしょうか？

さらに総務科長は、最初に斉藤書記長に差し替えの理由を「わかりやすくするため」といっていたものを、斉藤書記長から「何か不備があったのか？」と問い詰められ、渋々「実は事務方のミスです」と前言を翻しました。まさに嘘をついて誤魔化したのです。これは山田社長が公印まで捺した『発令通知書』の重要な事柄に誤りがあったことを「事務方のミス」として、二重の誤魔化しと嘘をついたこととなります。

私たちはこの事態を絶対に許しません。山田社長は頭を下げるのがスジです。その上で一連の行為が、デッチ上げ「酒気帯び」を作り上げるための会社ぐるみの不正行為であることを認めるべきです。無理にデッチ上げ、ストーリーを作り上げようとするから綻びが生じてしまったのです。

会社は自らの犯罪的行為を認め、直ちに謝罪せよ！その上で不当処分を撤回せよ！

こんな理不尽が許されるのか！
公印を捺した山田社長の責任を明確にせよ！

「説明」などとその場しのぎは止め
団体交渉を速やかに開催せよ！